

2023年7月18日

各 位

大阪信用金庫  
理事長 高井 嘉津義

## 定例調査：第196回 景気動向調査（4～6月期）

☆売上D I 2019年6月期以来のプラスへ・・・・・・・・・・・・・・・・・・売上D I +2.7

☆堅調推移続く 設備投資・・・・・・・・・・・・・・・・・・「予定あり」12.6%

☆多岐に亘る問題点・・・・・・・・・・単価上昇 71.9% 売上減少 46.1%、経費増大 45.6%

☆夏季賞与支給率上昇・・・・・・・・・・・・・・・・・・「支給する」68.8%

### ●売上D I 2019年6月期以来のプラスへ・・・・・・・・・・・・・・・・・・売上D I +2.7

総合では、売上D I が2.7（前环比+9.0ポイント）、収益D I が-5.3（前环比+15.7ポイント）となり、売上D I は2019年6月期以来のプラスに転じました。行動制限の緩和やインバウンド需要の回復、賃上げなど、売上D I は、小売業、運輸業、不動産業を除く5業種でプラスとなり、経済活動は徐々に上向いてきました。

2023年7-9月期は、売上D I が2.8ポイント上昇し、収益D I が1.7ポイント下落すると予想しており、業況の一層の回復に大きな期待を寄せていますが、販売価格の引き上げには慎重となっています。

### ●堅調推移 設備投資・・・・・・・・・・・・・・・・・・「予定あり」12.6%

設備投資は、総合では「実施中」が10.6%（前环比△1.4ポイント）、「予定あり」が12.6%（前环比△0.8ポイント）で合計23.2%となり、業況回復とともに堅調に推移し、特に、製造業は32.3%、サービス業は24.6%、卸売業が22.5%と設備投資意欲は旺盛です。

業況の回復基調は鮮明となり、今後、設備投資意欲はさらに上昇すると思われます。

### ●多岐に渡る問題点・・・・・・・・・・・・・・・・・・単価上昇 71.9% 売上減少 46.1% 経費増大 45.6%

経営上の問題点は、総合では「仕入単価上昇」が71.9%（前环比△4.0ポイント）、「売上停滞・減少」が46.1%（前环比△4.2ポイント）、「一般経費増大」が45.6%（前环比△0.6ポイント）、「人手不足」が38.5%（前环比△1.2ポイント）となり、依然として続く物価の高騰や電気代などのエネルギー価格の上昇を背景に、多岐に亘る問題点への対応に迫られています。

特に「人手不足」は、建設業が63.0%、運輸業が59.1%、サービス業が50.7%と深刻化しています。

### ●夏季賞与支給率上昇・・・・・・・・・・・・・・・・・・「支給する」68.8%

夏季賞与を支給するのは68.8%（昨年比+2.5ポイント）と昨年から上昇しました。

業種別では、小売業と飲食業を除く全業種で上昇しています。特に人手不足感が強い、建設業は76.1%（昨年比+5.1ポイント）、サービス業は63.6%（昨年比+3.6ポイント）、運輸業は60.9%（昨年比+8.4ポイント）となり、昨年から支給企業が増加しています。

業況回復とともに人手不足感はさらに強まることが予想され、従業員の新規確保や流出防止のため、経営者の懸命な姿が伺えます。

調査時点：2023年5月下旬～6月上旬

対象期間：2023年4～5月期（実績）・6月（予想値） 2023年7～9月期（見通し）

対象企業：当金庫お取引先1,689社（大阪府内、尼崎市）

回答企業数：596社（回答率35.3%）（新型コロナウイルス感染症対策のため郵送・WEBで回答）

本調査に関するお問い合わせは下記までお願いします

だいしん総合研究所（担当：平山、楠）

TEL：(06)6775-6590 FAX：(06)6772-1630

E-mail：souken@osaka-shinkin.co.jp URL：<https://www.osaka-shinkin.co.jp>

この街のホームドクター

 大阪信用金庫